

# 問 人口減少対策と婚活支援策は

## 町長 結婚時や子育てに支援充実を図る

### 消滅可能性自治体に

問 本町が消滅可能性自治体になったことの根拠や背景など、町としての見解は。

町長 若年女性人口が高いスピードで将来減少すると予想される。その人口区分に特化したものであることに批判は尽きず、公表されたことに憤りを感じる。国の政策を見極めなが

ら、より効果的な対策をスピード感をもって展開していきたい。

問 今後も人口減少が続くことの課題や町政運営がどうなるのか。

町長 町民が選択しない限り自治体の消滅はない。雇用対策や移住・定住対策を施しつつ、住民生活の質の向上とそれによる定住環境の確保を行政として重視すべきと考える。

### 婚活について

問 行政が出会いの場を作ったり、婚活に取り組む考えは。

町長 インターネットやSNSの普及により行政の関わりは過渡期だ。多様性を認める世の中へと変わり「官製婚活」という価値観の押しつけとの声もあり、慎重な対応が必要。新たな取り組みはないが、結婚時や子育てへの支援の充実を図っていく。



よしの 吉野 みか 美香 議員

夏の夜  
風鈴の音色に癒されます



町が消滅しないように

## 問 町民の要望・町民の声への対応は

## 町長 公平・公正にできるだけ早く対応

### 一般的な流れは

問 どのように受付、検討しているのか。

町長 基本姿勢として、公平性、公正性などに留意しながら、町民の身になって、できるだけ早く、納得のいくように対応している。軽易な事案の場合は記録に残さないが、重要あるいは検討を要する案件の場合は、上司に口頭で報告、または顛末書を作成し、関係部局と協議し、上司の伺いを経て対応している。

### 解決できない事案は

問 町民の声で解決できなかったものは、意見者に対してどのように対応しているのか。

町長 解決できない理由や根拠を説明し、丁寧な対応で一貫して臨むようにしている。

### 進捗状況の管理

問 意見や要望は役場全体で集計し、進捗状況などを一元管理しているのか。

町長 要望の集約は行っているが、全体としての集計は行っていない。内容にもよるが、各担当課で管理している。町民課町民生活係の「町民相談業務」では、その都度すぐに状況確認し、臨機応変に対応している。過去5年間の実績としては、犬・猫関連の苦情や近所付き合い、公共物関連、町政に対するもの、要望などの相談が寄せられている。政策推進課広報企画係では「広聴活動」を担い、公表可能なものは広報紙へ掲載している。

